

早いもので、また一年が終わろうとしています。みなさん、お元気でしょうか？私はいつも通り元気です

上から読んで下から読んでも2002年。皆さんにとっては何んな年でしたか？私にとっては丸々一年社会人だった、初めての年です。明けても暮れても会社と家の往復…。気づいたらクリスマスも間近になっていたというわけです。残念ながら、ここ最近で、最も何も起こらなかった「ヘーっぼん」な一年間だったといつても過言ではないでしょう。来年はそんな寂しい振り返りにならないようにすべく構想を練っています。詳細はまだ ひみつ ですが……。それはさておき、本日は、どこかのY子の「ヘーっぼん」の1年をご報告します。

目指せ！丸の内

Y子が社会人になって早くも一年半以上が経ちました。家の電話を使う時に、ついついゼロ発信してしまうのは職業病と言えるかしら？

皆さんもご存知のように、入社以来丸の内OLを夢見てきたY子ですが、その夢は昨年ではなく敗れました。丸の内どころか、公共の交通機関も必要としない自転車通勤だったY子。しかし、今年の8月に支社が移転して、なっ、なんと！Y子の勤務地が幕張になったのです。丸の内には届かないけれど、一歩前進。15分だけ丸の内に近づきました。あと30分です！

幕張では、それまでと違ってOL気分を大満喫できます。OLな自分に特に酔ってしまうのは、ランチタイムにライオンでオムハヤシを食べている瞬間と、ちよつと時間がある朝に、幕張の駅前のエクセルシアールカフェで、コーヒーを飲む瞬間です

今年の北支社

天下のT海上も変革期。この先どうやることやら雲行きはかなり怪しげ……。まあ、それは置いておいて、Y子の所属する北支社では7月の人事異動でBOSSが変わり、支社の雰囲気

気も一変。でも基本的なメンバーは変わっていないので、ここでは新しく北支社に来た人をご紹介します。

Bさん(支社長)

前任Iさんとは対照的で、朝が「超」早い。よく言えばマメで悪く言えば細かい。メールで絵文字も使いこなせるのです。彼のモノマネする時のコツは抑揚をつけずに喋ること。

Yさん

赴任前に流れた噂では「T海上でかい」「200キロはないらしい」ということだったが、たつたの「250キロ」であることが判明。苦情対

恒例??支社遠足

やっぱり一見

地方の零細企業??



応などの時に頼れる、北支社では貴重な存在。

Aさん

北支社初、フェロモン系一般職。恐ろしく仕事が速くて完璧。フランス育ちで、時々謎めいた単語が……。A家では、グレープフルーツはパッパルムースと呼ぶらしい。

Hさん

着替えが早い。今、目の前を通ったと思ったら次の瞬間には制服姿で仕事をしています。とにかく発する単語や、物事に関する感想が独得で面白い。なぜかA型。Y子、Hさんのモノマネも得意です。

Iさん

細くてお肌がきれい。一児の母とは思えません。Y子的にはIさんはパンピに似ていると思うのですが、失礼だったらごめんなさい。

仁義なき戦い

最近北支社では一般職VS総合職という仁義なき戦いが、以前にも増して、激しく繰り広げられています。簡単に言うとう営業職VS事務職の戦い。特にNさんの

仕事のフリっぶり、かわしっぶりは悪名が高い。「すぐ出かねきゃいけないんだあ」と言っ去ってしまうその姿はお見事としか形容できません。

「営業職と事務職は相いれない」というのはどの職場でも変わらないことだと思いますが、Y子達はこれからも「事務職」の立場で戦い続けます。

社内での戦いもさることながら、社外との戦いも尽きることがありません。世の中には信じられないことが、こんな沢山、しかも、こんなに身近にあるものなんですねえ。しかし不特定多数の人にお配りするこの

紙面で、様々な事件を語るのはちよつと危険。「壁に耳あり障子に目あり」ですからね。この一年間、同期のS子(スーパー同期。苦勞が絶えないS子だが、トークが最高。さんまにネタを提供できるのでは?)と思うほど。母Hさんもかなり面白いです。などと食事に行っ、会社のネタで相当盛り上がっている時に、ふと後ろを見ると会社の人があ

ああ！ということが何度あったことか……。口は災いのもと！」気をつけないうと、ということ、興味がある方は、個別にお問い合わせください。ネタ帳用意してお待ちしております。

Eちゃん

ゆめづい

中学と高校で一緒だったEちゃんが二月に結婚し



ました！結婚式は舞浜ヒルトン。年初には、やはり高校の友達Jの結婚式に呼ばれているY子。場所は舞浜シエラトン。そんなわけで

下見は万全のY子

ドレス姿の新婦はとっても美しくつたです。そんな新婦ですが、相変わらず冷静で、ちょっと抜けているのは昔のまま。新郎のAさんは、Y子にとっては初対面で未知の世界。Aさんの会社仲間のスピーチを聞くと、相当熱い人らしい。二人の新居は幕張本郷なので、今後更なるリサーチを入れていきたいと思っております。

そしてもう一人、この結婚式のおかげでホントに久々の再会を果たした中学の時の友達K子。某N Kのキャスターになったと聞いていたためちよっとビビっていたのですが、全然変わっていません。懐かしくて居心地のいい時間を過ごしました。

ゲレンデのY子

Y子はウィンタースポーツは未経験。そんなY子が今年3月、いつもと違ってもお世話になっている会社の先輩Nさんに誘ってもらい、スノボデビューを果たしました。今、ふと湧いた疑問。あのスキー場はどこだったんだろう？



た疑問。あのスキー場はどこだったんだろう？

ピークという名前がついていたのは確かですが、都道府県は不明。3月も半ばだったのですが、前日に雪が降ったおかげで滑りは快適いや、転びは快適。あまり人もいないため、転んだ後はしばしそのまま休憩。Nさんの旦那様のお友達、Hさんの指導のもと、何とか前には進めるようになったY子。車でも車庫入れとかバックとかできないし、前に進めるようになれば上出来い。久々の運動で脂肪も燃焼、ストレス解消（実はストレッチなんて殆どないけど……）と一挙二得も楽しい一日でした。しかし翌日から悪夢の筋肉痛……。自転車通勤のY子は翌日から？

爆発娘？

4月末に会社を退職した先輩のFさん。入社以来、Y子が本当にお世話になっ



望ちゃんです

たFさんですが、6月に長女Nちゃんが誕生！。元気が良いので、先日FさんはNちゃんを「爆発娘」と言ったりしてました。Nちゃん、とってもカワイイです。落ち着いたら、Nちゃんと幕張に遊びに来て下さいね。

お料理上手下手

同じ大学ではないのですが、学生時代の友達、SちゃんとAく。さて、ここで問題、「Aく」のニツクネー



Mの由来は？ アグリカルチャー（農業）に精通している。アナログである。アグネスチャンに似ている。では正解 答えは……。そんなAく、SちゃんにはY子は学生時代からお世話になりつ放し。3人は9月に、Aくファミリー所有の熱海のリゾートマンションに行ってきた。Y子は学生時代に何度かお邪魔して、とてもお気に入り。フロントがあつて、そう、ホテルみたいなんです。夏はプールにも入れるし、ジャグジー付きの温泉も。しかもAくファミリーの部屋は角部屋で、海が一望できます。Y子宅より大きいかも……。学生時代に、女7人、男2人でこの熱海に来た時は、

女が7人もいるのに誰一人としてまともな料理ができず、料理はY君（お料理上手）にお任せだったY子達。結局Y子達も一品だけ、その前日の深夜番組でKンダUノが作っていた「塩辛パスタ」を作ることになったのですが……。イカは熱でシラスほどの大きさに縮んでしまい、N君からは「このパスタ、ご飯にあうね」という感想をいただく始末。対照的にY君の作ったカルボナーラは絶品でした。

Y子は当時から全く成長していませんが、Aくはこの熱海でリベンジ！というので、今回Aくが作ってくれたジェノベーゼ、ポークステーキのグレイビーソース添えはすばらしく美味しいものでした。あの頃は、卵をゆで過ぎて、ついに爆発……。なんてこともあったのに……。そんな過去が信じられないほどお料理上手になっていったAく。Y子ピーンチ！

さて、女のすごいところは夜通しただお喋りだけしていられること。この夜Aくの告白したちよっとカワ

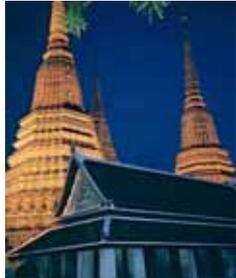
イイお話は……Aぐは普段全然テレビを見ない人なので、それまで常盤貴子を知らず、たまたま「ビューティフルライフ」の最終回を見た時に、この人は本当に足が悪いのでは？と心配になり彼女の主演している他のドラマを見て確認した……というものでした。

アジアレポート

さて、次は「Sちゃんの料理を食べよう！」というテーマのもと、湘南のSちゃんの宅へ大集合！！

Sちゃんは、去年結婚して今は自稱くつたら主婦。Y子が以前訪ねた時に、「料理作って待ってるね。」と言っていたSちゃん。しかし、その日は結局カプリチヨーザに行くことに……。という経緯があり、今回このようなテーマになったのです。噂によると茶色系の料理が得意らしい……。

その日は噂どおり、ハツシユドビーフ「大根とすじの煮付け」という茶色スペシャル。コロッケやレアチーズケーキも手早く作っていて、すっかり主婦が板についた様子。どれも漏れなく美味しい やはり食は人



バンコクの寺院

生最大の楽しみ 旦那様もノリが良くてイイ感じいです。

ここからはY子心の旅

年に一度取れる5連休（通称「これん」）。今年は十一月の三週目に五連をとってタイランドに行ってみました。実はアジアには行ったことがなかったY子。ついにアジアデビュー

！！以前からベトナム人つばいとかわれつづけていたため、東南アジアには妙な親近感が……。Y子自身も「んっ？実は里帰りかも？」と思ってしまうほどです。

それでは、Y子の「タイランド一時帰国の旅？つれづれ日記」です。

タイの道の

離陸2時間前の夕方5時

空港に到着し早速搭乗手続

「今、女性だけなんですけど、サービスでこちらを差し上げています。」ということ、

何とダブの試供品をゲット。

幸先良し！と思つたのもつかの間、「はさみとか持つて

いますか？」との質問。まさか没収されないだろうと思いつつ、「眉きりバサミなら持つてますけど。」という

と、「眉きりバサミでも持ち込みできませんので、搭乗前に処分してください。」と

あっさり通達される。つい5年前は、お土産のナイフ

でも余裕で機内に持ち込めたのに……。世界情勢が変わ

つたことを実感。でもでも、Y子のすぐに伸びる眉毛を

いつもじゃきじゃき切つてくれる超愛用の資生堂眉きり

りばさみ。テロに屈するわけにはいかない！処分なんてとんでもない！と思

い、まだ離陸まで2時間あるので空港内を散策。そしてある

場所に眉きりばさみを隠し、「来迎迎えにくるから

ね。」と涙のお別れをして、タイランドに向けて出発したY子でした。

Y子が乗つた飛行機はアメリカのNW航空。ゲート

にはアメリカからタイに向かうトランジットのアメリカ

カ人が沢山。ロス行き飛行機に乗つた時よりアメリカ

カ人が多いことにびっくり。しかしもつとびつくりなのは、NW航空のサービス。

機内アナウンスは気まぐれで、時々タイ語や日本語の案内が抜ける。

缶ジュースつて普通一本くれるけど、コップに半分

注いで終わり。

食事の時以外にはスチュワーデスは殆ど仕事しない。

離着陸の時にシートベルトを締めているかとかを確認しない。

帰りの飛行機では「当機は間もなく着陸態勢に入りますので、映画の上映を終了させて頂きます」と、映画も途中で終わってしまう。

後から知つたのですが、実はワーストイーストと言われているほど評判の悪い航空会社なんだそうです。（皆さんの関係者がい

ないことを祈ります。）ちょっと怖い話ですが機体のチェックも甘いそうです（確かな情報筋より）。

さて機内ですが、どの学校の休み時間かと思うほど、方々でアメリカ人が井

戸端会議。座っている人が少ない。Y子は三人席の真

中。なぜか両サイドは夫婦。旦那様はビークサイズ。

Y子の会社のYさんよりは小さいけれど、エコノミー

の席がちょっときつそう。でも夫婦なのに何で隣同士の

席じゃないの？NW航空意味不明。しかも、ただどしい英語で「席、変わ

りましょうか？」つてY子が提案したのに「ノープロブレム！！ダズントマタ

ー」とか言っちゃって、「こ

つちがプロブレムなんだよ

お」と思いつつ、Y子、夫婦の間で6時間のフライト

そしてやってきましたタイランド！！。飛行機を降りたらナンブラー臭いのか

と思いきや、それほどでもない。ただ、ジワ〜とした蒸し暑さがY子を襲撃。

そして入国審査で理由もなく審査官に笑われたY子。

Y子の入国審査をしていた人は隣の審査官にY子のパスポートを見せて、更に「見るよお」とY子を指差し、

何やら二人で笑っている。あれはやっぱり、「こいつ、

タイ人だと思つたら日本人だつてよお」と笑っていた

のかも……。

夜の十二時過ぎに空港に着いたY子。その日は、バン

コクで日本語教師をしているOちゃんが、彼と一緒に

空港まで迎えに来てくれたのでした。Oちゃんは学生時代に一緒のボランテイ

アをしていた友達。2年前からバンコクで日本語教師

をしていて、Oちゃんの彼は青年実業家のタイ人。タ



麵一食20パーツ 美味紅茶は激甘ミルクティー

イ人なのになぜか英語の名前があり、Sブンといいます。Sブンは、コボちゃんのような顔立ちで日本語もペラペラ。Oちゃんの家まで送り届けてもらい、その日はおやすみなさい

11/16@バンク

タイでの初日は晴れ。Y子はOちゃんと共に、バスやスカイトレインを乗り継いでバンコクの前宿(サイアム)へ。

「スカイトレイン」とはモノレールのような乗り物でバンコクの主要な場所を通っています。ご存知の通り、バンコクは渋滞都市。片側四車線もあるのに、全く動かないなんてことが本当に多いのです。そんな都市で、このスカイトレインは



パパイヤのサラダとソーセージ

渋滞と無縁の画期的な乗り物。それまでの移動手段は専らバスやタクシーなど。1999年に開通したスカイトレインは、市民の大切な足になっています。数年後には地下鉄も開通するということでバンコクの今後の発展が楽しみです。

サイアムは、竹下通りのような熱気があるところで、Y子くらいの年だとやや場違いの感あり…。ひらがなブームで街でも時々日本語を見かけます。

お昼はタイ名物タイスキとアヒルのお肉。両方ともとってもおいしい。アヒルは限りなく鶏肉に近いです。レストランに入っておなご一杯食べて、二人で300

バーツ(1バーツ3円)。安い!!。そしてその後は、映画を見に。タイの映画館は全席指定。つまり立ち見はなしです。ここでびっくりにタイ文化!。映画が始まる前にコマーシャルが入るのは日本と同じ。ただ違うのは、コマーシャルが終わって映画が始まる前に、王様の歌が流れるのです(国王とは違うようです)。そしてその間、映画館にいる全員が起立して国王に敬意を表するのはその後。みなさんもタイに行ったら是非映画館に足を運んでみて下さい。その後Sブンと合流、Sブンの友達の「謎の時計密輸商Uさん」と4人で夕食、そしてタイマツサージへ。

11/17@バンク

観光客が行くと2時間800バーツですが、地元の人が行くと250バーツ。現地人と一緒にY子も、勿論250バーツ。多少アクロパティックではあるものの、2時間たっぷりリラックス。極楽極楽

帰りにシートベルト未着用で警察に呼び止められるが、Sブンの「警察に知り

合いがいる」の一言で見逃してもらった。タイでは500バーツ渡せば各種交通違反も結構見逃してくれるらしい。この日はSブンとOちゃんと3人で、Oちゃん邸泊。お邪魔でごめんなさい。

11/18@ATK

ゆっくり起きて、週末だけに開催されるウィークエンドマーケットへ。バンコクで安く買い物をするんだしたら、ここに来るべし!何でも売ってます。ペットから植物から日用品から食品まで。日本への動物の密輸の発信地でもあるのと。活気がすごい。一日いても足りないくらいです。

Y子達はここでお昼ご飯。タイのもち米及びソーセージ、パパイヤのサラダ。サラダは「唐辛子2個」というように注文をして、辛さを調節します。Y子は辛いのが好きですが、Sブンはタイ人なのに辛いものが苦手なため、唐辛子抜きのサラダを注文。少々意外ですが、ソーセージの種類が豊富です。夕方は、寺院の庭で琴のような楽器の演奏に

聞きいてまったりと過ごし、寺院で僧侶さんのお経?を聞きながらしばし瞑想。明日はいよいよアユタヤへ。世界遺産がY子を待っているわ。

月曜日のためOちゃんは仕事で学校へ。そしてY子は世界のアユタヤへ。バンコクの中央駅フアラノンから列車でアユタヤへ向かったY子。この駅では観光客目当ての詐欺が横行している」と「地球の迷い方」に載っていたのですが…誰も声をかけてくる様子なし。あれあれ??今日のは詐欺もお休み??と思いつつ電車に。7:40発のはずなのに50分になっても発車しない。さっすがタイ。何でもルーズ!と思っただけですが、よく見たら8:40発でした。アユタヤまでの2時間の電車の旅の途中、いろいろな人が食べ物売りに来ます。車内販売っていうより、行商って感じです。あー、タイにいるんだなって実感。車窓からは田園風景と水の

上に建っている家々が見えて、これもタイ。そんな風景を堪能しつつ、うとうととしていると、あつという間にアユタヤ到着。アユタヤ駅は世界遺産の街とは思えないほど質素な駅。駅前に観光客相手の小さな商店街があり、そこを抜けると川、その川を渡るとアユタヤの街が広がっています。

Y子は貧乏旅行のため、(それとも自転車屋の娘の血が騒いだのか?)駅前の貸し自転車屋で自転車を借りて(一日80バーツ)アユタヤを観光することに…。自転車を渡し舟に乗せて川を渡ると、いよいよ遺跡群をめざしてのサイクリングの始まりです。颯爽と自転車を飛ばすY子。最初にツーリストインフォメーションへ。街の外れにあるとい

上には建っている家々が見えて、これもタイ。そんな風景を堪能しつつ、うとうととしていると、あつという間にアユタヤ到着。アユタヤ駅は世界遺産の街とは思えないほど質素な駅。駅前に観光客相手の小さな商店街があり、そこを抜けると川、その川を渡るとアユタヤの街が広がっています。

Y子は貧乏旅行のため、(それとも自転車屋の娘の血が騒いだのか?)駅前の貸し自転車屋で自転車を借りて(一日80バーツ)アユタヤを観光することに…。自転車を渡し舟に乗せて川を渡ると、いよいよ遺跡群をめざしてのサイクリングの始まりです。颯爽と自転車を飛ばすY子。最初にツーリストインフォメーションへ。街の外れにあるとい



マーケットの屋台



アユタヤの渡し舟のオヤジ



う立地と、ツアーで来る人が多いことなどで、インフォメーションはガラガラ。地図を貰うだけのはずだったのに、5人の職員さんに見所などを60分かけて案内してもらいました。これこそ真のツーリストインフォメーション。世界遺産の街だつていうのに舗装されていない所もあり、自転車で回るのも一苦労。しかもY子は方向音痴。なかなか遺跡の場所が探せなかったりして、灼熱の太陽の下、みるみるうちに焼き豚に…。Y子は自力で観光していたため、せっかくの世界遺産の前でガイドなし…と思いきや、大丈夫。写真を撮るふりをして、日本語ツアー

のストーリー

快適な遺跡めぐりをしていたY子に降り注いだ悪夢は…ある遺跡の前で、少年が「お嬢さん、お嬢さん」といつてY子にポストカードを法外な値段で売りに付けてきたこと。そんなものを売りつけようなんて100年早い！！と思つてY子断る。すると「ケチ」と暴言を吐いて、更にしつこく付いてくるので気にせず無視すると極めつけ、「ケチ、オバサン」「おーばーさーんー！？」はあつ？？」このクソガキ！と怒り半分、シヨツク半分。Y子撃沈…。別の所でも、また「お嬢さん」と呼ばれたので、ムカついて無視。しかしY子、この時は、入場料を払つてなかつたため呼ばれていたのです。危づく警察沙汰…。

さて、気を取り直してアユタヤ観光。同じアジア人だからかもしれませんが、どここの遺跡を見ても何となく落ち着きます。遺跡の周りに広がっている芝生の上でポーツと休憩したりすると本当にゆったりとした気分



になり、最高でした。

日が沈んだ頃、駅に戻りバンコクへ。帰りの電車は自称写真家の日本人と一緒。詐欺にあつた話を延々一時間。Y子が話せば10分で終わる話であつたため、Y子は途中で飽きてしまい、彼の話は殆ど右から左へ。世界遺産ともお別れ…。

11/19@バンク

年に一度のお祭りの日。日本語で言えば灯籠流しの日ですが、タイでは大きなお祭りであり、恋人と灯籠を流すと幸せになれるといふ言い伝えがあります。仏教国のタイの若者にとつてこの日はクリスマスのような意味合いを持つているのかも。こんな日にタイにいられるなんてY子ラッキー。お祭りは夜。まず本日はOちゃんの職場へ。チャオプラヤー川を越えた先にあ

るOちゃんの勤めている大学はお金持ちの来るエリート校。大学構内には学生が乗ってきたベンツやBMWがずらりと並んでいます。さて、Y子も一緒に授業に参加。日本と同じで騒がしいクラスもあるし、きちんと授業を聞いている人も、そうでない人もいます。しかし、今日はお祭りのため、みんな心ここにあらず。Y子は「明日何をしますか?」とか「昨日何をしましたか?」とかいいう会話練習の相手をしちやいました。Y子の練習相手の学生は「僕、アニメオタクです」とY子に自己紹介。アニメオタクが講じて日本に留学してきたりする人、実際とても多いのです。そんなこんなで、タイの大学の授業を満喫。

この日びっくりしたこと。

タイの女子学生はみんなスタイルが良い。その大学にいたもう一人の日本語教師はおかまだった。(本人からカミングアウト済。確かに話し方などが怪しげ。さつすがタイ、暮らしやすいでしょうかね?)。授業のレベルが高い。通算2時間目(週3時間として一学期がやっと終わるくらい)にして未来・過去などの表現を習得している。何はともあれ、日本語の授業つてとっても新鮮でいいですよ。

さてさて、授業が終わつてからバンコクに戻り、いよいよ灯籠流し。地元の人しかいないベストスポット、バンコク中央郵便局の裏手の船着場へ。そこから願いを込めて、灯籠を流しました。チャオプラヤー川の浮き棧橋の上で、川の両サイドから上がる鮮やかな花火、それを見て黄色い歓声を上げている子供たちの声を聞きながら、タイの文化に触れまくつたY子でした。

この日は「戦場」に架ける橋」で一躍有名になつたカンチャナブリへ。バンコクの南バスターミナルからバスで約2時間ですが、しかし、大渋滞にはまり、南バス「B」に辿り着くのに2時間かかつてしまいました。カンチャナブリ中心部から橋までは5キロくらい。時間もあつたので、Y子は徒歩で向かうことにしました。幸い一本道のため、方向音痴のY子でも大丈夫。橋までの道のりは千葉の「6号沿いのような感じです。道沿いには自動車修理工場や卸問屋のような店が続いており、観光の要素はなし。4キロほどまっすぐ歩いて右に曲がると、大量のアメリカ人と橋が見えてきます。クエー川に架かるその橋と自然を満喫、博物館にも立ち寄り、3時にはバンコクへの岐路に着きました。だつて8時にはバンコクの北バス「Ter」からチェンマイに



船着場で花火を見上げるタイ人

@カンチャナ

リ

この日は「戦場」に架ける橋」で一躍有名になつたカンチャナブリへ。

バンコクの南バスターミナルからバスで約2時間ですが、しかし、大渋滞にはまり、南バス「B」に辿り着くのに2時間かかつてしまいました。カンチャナブリ中心部から橋までは5キロくらい。時間もあつたので、Y子は徒歩で向かうことにしました。幸い一本道のため、方向音痴のY子でも大丈夫。橋までの道のりは千葉の「6号沿いのような感じです。道沿いには自動車修理工場や卸問屋のような店が続いており、観光の要素はなし。4キロほどまっすぐ歩いて右に曲がると、大量のアメリカ人と橋が見えてきます。クエー川に架かるその橋と自然を満喫、博物館にも立ち寄り、3時にはバンコクへの岐路に着きました。だつて8時にはバンコクの北バス「Ter」からチェンマイに



戦場に架ける橋(カンチャナブリ)

11/20

この日は「戦場」に架ける橋」で一躍有名になつたカンチャナブリへ。バンコクの南バスターミナルからバスで約2時間ですが、しかし、大渋滞にはまり、南バス「B」に辿り着くのに2時間かかつてしまいました。カンチャナブリ中心部から橋までは5キロくらい。時間もあつたので、Y子は徒歩で向かうことにしました。幸い一本道のため、方向音痴のY子でも大丈夫。橋までの道のりは千葉の「6号沿いのような感じです。道沿いには自動車修理工場や卸問屋のような店が続いており、観光の要素はなし。4キロほどまっすぐ歩いて右に曲がると、大量のアメリカ人と橋が見えてきます。クエー川に架かるその橋と自然を満喫、博物館にも立ち寄り、3時にはバンコクへの岐路に着きました。だつて8時にはバンコクの北バス「Ter」からチェンマイに

向けて出発しなければなら
ないんですもの

約4時間かかってようやく、北バス「Ter」の最寄のスカイトレイン駅に到着！ここまでは順調?! なはずでした。念のため駅員さんに、「北バス」までタクシーで10分くらいよな?」と聞くと、「北バス「Ter」は、すーごく遠くよ。まずはスカイトレインで行った方がいいわ。」という予想に反する答えが…。何言ってるの??この人、頭おかしい



タイの古都*チェンマイ市内

んじゃない??とと思って、しばらく状況が理解できなかったY子。そんなやりと



*エレファントライド

りを見ていた親切なアメリカ人が、「OK、私が説明しよう」と路線図をY子に示しながら説明を始めました。そこでY子愕然。Y子は北バス「Ter」の最寄の駅にいます。銀座線で、渋谷に着いたと思いついていたら、実は浅草だったって感じですね。Y子には時間が無いのに…。急いで逆の駅に向かいバス「Ter」へ。「Ter」に着くと目の前に広がっているのは、無数の窓口でチケット売りのお姉さんが手招きをしている異様な光景。Y子、チェンマイ行き最終バスにギリギリ飛び乗ります。

チェンマイまでは約20時間。バスにはエアコンなしの2等バス、エアコンありの1等、そして豪華なVIPバスがあります。Y子

はちょっと奮発してVIPで行くことに…。VIPバスは三列しかなくて、ゆーったり。これで快眠。チェンマイに着くのを待つのみ…のはずでした。ところが、途中から何やらY子の頭にぼたぼた垂れてくる…。VIPなのに、雨漏りが、はたまた冷房の水滴か…。どちらにしても大迷惑。そのせいで多少寝不足。

11/21@チナン

朝5時ごろチェンマイに到着。バスターミナルで夜明けを待つ、いざ市内へ。ソンテウという乗り物に乗



バンブーラフティング



滝で自然を満喫

って、夜明け直後の静かな商店街を抜けて、旧市街の入り口へ。早々に宿を決め、

またまた自転車観光。チェンマイはタイ第二の都市なのに、とてもこじんまりとしています。旧市街の周りをお堀が囲っていて、お堀の噴水が、暑い街を涼しげに演出。更に、周りを山々が囲っていて、バンコクのような騒がしさが無く、とても落ち着く所です。Y子は大好き。バンコクが東京ならチェンマイは京都といった感じでしょうか。

11/22@チナン

この日はトレッキングに参加。8時半にチェンマイを出発し車で行くこと2時間。*2時間山歩き。モン族の村。エレファンライド(1時間)。昼食。カレン族の村。滝遊び。バンブーラフティング(1時間)*。*こんなプランでした。感想は…象に乗って川も渡ったし、象の

最高!ただ、金曜日の昼間から「象使い」の仕事をしている子供たちが、学校に通えているのかどうか

気になりましたが…。

モン族やカレン族の村は、日帰りで行かれるような場所である為、「族」とは行っても電気は通っているし、専らY子達のような観光客用の村といった感じ。バンブーラフティングは急流で川に落ちたりして下半身水浸し…。その日はトレッキングの後すぐに、再び夜行バスでバンコクに帰らなければならなかったため、靴などはビショビショのままバスに乗り込むことに…。冷房の効きすぎで、寝不足気味のまま朝の3時にバンコク到着。

11/23@バン

夜明けを待つてOちゃん宅へ。再び一日バンコク観光&お土産選びに出かけることに…。本場のトムヤムクンも食べて大満足。Y子の飛行機は翌朝6時の離陸のため、ハリーポッター2を見終わって深夜12時すぎ、再びSフンに空港まで送ってもらいました。

Y子、搭乗手続きが始まるまで、空港のベンチでうつ伏せ寝で猿睡。起きると4



4種の調味料で味付け

編集後記

毎日殆ど同じような日々の中で旅行は非日常であり、今回は初めてのアジアということもあって、大半が旅行記となっております。去年に引き続き世界情勢は不安定ですが、来年の平和と皆さんの幸せを祈ります。今年もよろしくお願ひします